



進路通信

さくら



2021年

5月28日発行

◆「1学期中間テストを終えて」

3年生になって、初めての定期試験の中間テストが終わりました。どうでしたか？目指している進路先が、具体的に見えてないこともあります。どこを目指して頑張っていけばいいのかわからないという人もいると思います。ただ、内申点等を決めていく定期試験は始まっています。今回の中間テストに取り組む姿勢に関して、できしたこと、できなかったこと、頑張れたこと、改善しないといけないことがあったと思います。それを見逃すことなく、次につながる努力をしていきましょう。

◆「自分は、誰のために勉強しているのだろう？」

3年生にとっては、内申点はすごく大切なものです。では、どうすれば内申点は上がっていくのだろうか。深く考えたことはありますか？「真面目にしていればいいだろう」という安易な考えではいけません。

今一度振り返ってみましょう。授業の受け方はどうか？宿題に取り組む姿勢はどうか？提出物に取り組む姿勢はどうか？考えてみてください。授業は静かに受けていればそれでいいのだろうか。発言することもなく、ただ板書や演習をするだけでいいのだろうか。宿題や課題に取り組んだだけでいいのだろうか。テスト1週間前に、提出物に追われていていいのだろうか。

内申点が高い人の特徴を1つ紹介します。それは、「内申点のために頑張っているのでない」ということです。「あれ？内申点のためではないのに、なぜ内申点が高いの？」と、疑問を抱いている人もいるかと思います。

答えはシンプルです。「自分の成長のために勉強している」ということです。自分の成長のために、学んだことはその日のうちに復習をする。自分の成長のために、勇気を出して、みんなの前で多く発言をする。自分の成長のために、勉強とやりたいことを両立し、コツコツと積み上げる努力をしている。全ては、自分の成長のために、考えながら努力をしているだけなのです。評価されるために頑張るのではなく、「今日の自分が、昨日の自分よりも成長するように」と、自分のために頑張っているだけに過ぎないということです。他人から言われてしているのではなく、自分がそうしたいからしているのです。だとすれば、成長し、結果ができるのは当然のことです。みなさんは、自分の意志によって勉強していますか？昨日の自分よりも成長したいと思えていますか？学びの本質はそこです。自分を成長させるために学ぶのです。自分に問い合わせてください。

「自分は、誰のために勉強しているのだろう？」

